

## 30年度大学入試センター試験 平均点情報

総合点は、文系、理系とも前年度並み

### 合格のポイントは2次対策ができていない大学への出願

進路情報研究センター ライセンスアカデミー／教材開発課 / 2018/1/17

1月17日に大学入試センターより、「平成30年度大学入試センター試験（本試験）平均点等一覧（中間集計）」の発表があった。その発表をもとに今後の入試戦線の動きを推測した。

平成30年度大学入試センター試験(本試験)平均点等一覧(中間集計)										
平成30年1月17日 独立行政法人大学入試センター										
受験者数 260,827人										
			平成30年度(中間)		平成29年度(中間)		平均点の対前年差	平成29年度(最終)		
教科名	科目名		受験者数	平均点	受験者数	平均点		受験者数	平均点	
国語	国語		220,830	102.4	219,596	103.5	▲ 1.1	519,129	107.0	
地理歴史	世界史	A	540	39.8	629	44.3	▲ 4.5	1,329	42.8	
		B	42,459	70.2	39,821	67.2	3.0	87,564	65.4	
		日本史	A	1,262	46.4	1,167	38.0	8.4	2,559	37.5
		B	72,449	63.9	71,415	60.9	3.0	167,514	59.3	
		地理	A	979	51.8	919	58.8	▲ 7.0	1,901	57.1
		B	44,328	70.2	46,438	63.8	6.4	150,723	62.3	
公民	現代社会		25,678	60.4	25,195	60.0	0.4	76,490	57.4	
		倫理	6,630	67.5	6,404	55.0	12.5	22,022	54.7	
		政治・経済	21,377	57.7	19,641	65.2	▲ 7.5	54,243	63.0	
		倫理, 政治・経済	20,577	73.1	20,173	66.6	6.5	50,486	66.6	
数学	数学①	数学 I	2,353	36.0	2,373	35.8	0.2	6,156	34.0	
		数学 I・数学 A	156,004	63.6	147,773	62.7	0.9	394,557	61.1	
	数学②	数学 II	2,267	27.2	2,147	26.3	0.9	5,971	25.1	
		数学 II・数学 B	136,009	54.0	133,574	55.1	▲ 1.1	353,836	52.1	
		簿記・会計	313	57.4	322	49.0	8.4	1,482	49.8	
	情報関係基礎	123	58.0	97	54.3	3.7	524	54.9		
理科	理科①	物理基礎	8,804	32.6	8,106	30.6	2.0	19,406	29.7	
		化学基礎	37,766	31.2	34,350	29.3	1.9	109,795	28.6	
		生物基礎	40,902	36.3	39,098	39.9	▲ 3.6	136,170	39.5	
		地学基礎	12,401	34.9	13,561	33.7	1.2	47,506	32.5	
	理科②	物理	63,532	63.2	64,479	63.3	▲ 0.1	156,719	62.9	
		化学	79,023	62.1	82,318	53.2	8.9	209,400	51.9	
		生物	28,147	62.4	30,289	69.6	▲ 7.2	74,676	69.0	
		地学	875	49.9	783	54.8	▲ 4.9	1,660	53.8	
外国語	【筆記】	英語	223,302	125.5	231,168	125.3	0.2	540,029	123.7	
		ドイツ語	67	142.6	74	132.2	10.4	116	128.7	
		フランス語	92	134.3	109	143.9	▲ 9.6	134	142.6	
		中国語	350	157.7	365	163.8	▲ 6.1	558	164.9	
		韓国語	93	133.3	116	130.7	2.6	185	129.0	
	【リスニング】	英語	222,115	23.1	225,660	28.4	▲ 5.3	532,627	28.1	
	筆記+リスニング	英語		118.8		123.0	▲ 1.6		121.4	

(注)平均点は、大学入試センター発表の数値を、小数点第2位で四捨五入した。

「筆記(200点)+リスニング(50点)」は、それぞれの得点率をもとに200点に圧縮してライセンスアカデミーで算出した。

▲はマイナス(-)の意味。プラス(+)は省略。

## 〈今後の予定〉

- 1月19日（金） 得点調整実施の有無の発表（予定）  
2月1日（木） 平均点等の最終発表（予定）  
1月22日（月）～1月31日（水） 国公立大出願期間

基幹科目と言われる3教科の中間集計における対前年度得点差は、

国語▲1.1点、数学（数学Ⅰ・A+数学Ⅱ・B）▲0.2点、英語（筆記+リスニング、200点換算）▲1.6点で、合計では▲2.9点になる。前年度に▲22.4点と難化した国語は▲1.1点で難しく、初日の試験ということから、思うように点数が取れなかった女子受験生に影響を与えたようだ。

地理歴史・公民の受験者は文系では、世界史B（+3.0点）、日本史B（+3.0点）、現代社会（+0.4点）の選択が多い。一方、理系では地理B（+6.4点）、現代社会（+0.4点）の選択が多い。難関国公立大受験者の選択が多い倫理・政経は+6.5点のアップとなっている。

理科の受験者は、文系では生物（▲7.2点）の選択が多い。一方、理系では物理（▲0.1点）、化学（+8.9点）の選択が多い。

このような得点状況から判断すると、総合平均点（900点満点）では文系はややダウン、理系はややアップ傾向になるだろう。

自己採点集計を実施している予備校等の予想点は以下の通り。

	文系 5教科7、8科目	理系 5教科7科目
河合塾	552点(▲3点)	560点(+1点)
駿台・ベネッセ	563点(▲2点)	575点(+1点)

※「文系5教科7、8科目」＝外国語・国語・数学(2科目)・地歴公民(2科目)・理科(1、2科目)

「理系5教科7科目」＝外国語・国語・数学(2科目)・地歴公民(1科目)・理科(2科目)

※各予備校のホームページより。

(河合塾1/16現在、駿台・ベネッセ1/17現在)

( )内は対前年度得点差。

今回発表のデータや自己採点結果をもとに、受験生は国公立大に出願する。センター試験の1ランクは約20点と言われる。マクロ的には、文系、理系ともアップ、ダウンが±5点幅に収まっていると予想されるので、国公立大の出願は、センター試験実施前の志望校に出願する傾向になるだろう。2次対策のできている国公立大への出願が合格へのポイントになる。また、志望校を変更する場合は、センター試験と2次個別試験の配点比率や試験科目（逆転現象が大きいのは、小論文、数学や物理）にも注目する必要がある。国公立大受験者の学力は、センター試験から2次試験までの間が一番伸びると言われる。私立大入試に目を奪われることなく、学力アップをはかってほしい。

私立大の入試戦線はどうなるであろうか。近年の一般入試においては、個別学力検査方式よりもセンター試験利用入試方式のほうが合格しやすいと言われる。30年入試はセンター試験において、期待通りの得点が取れた受験生が多い。そのため、センター試験後に出願できるセンター試験利用入試方式は都市部の中堅～難関私立大では受験者が増加するだろう。特に、理系ではその傾向は強いだろう。